

えすぽわーる

えすぽわーる新函館はJA新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌です



2017 No.173

—SHINHAOKODATE—

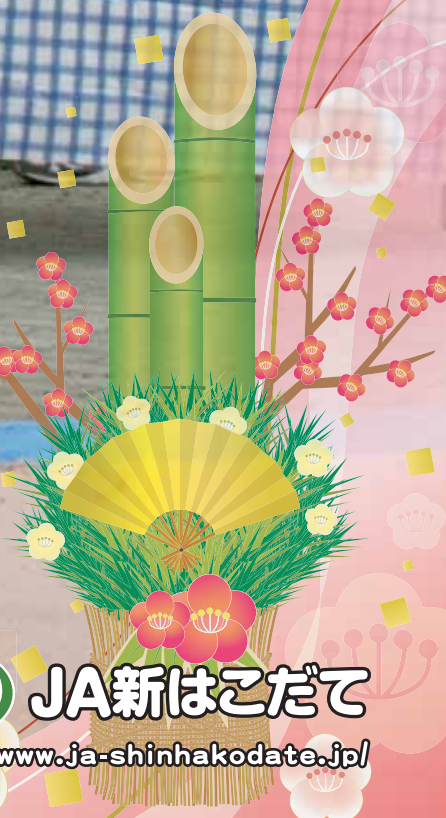


迎春



JA新はこだて

<http://www.ja-shinhakodate.jp/>



新年明けましておめでとうございます



新函館農業協同組合
代表理事 組合長
島 山 良 一

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、ご健勝で新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年からの国際情勢は、アメリカや韓国の国政の混乱、イギリスのEU離脱など、従来からの国際社会の枠組みにほころびが見られる状況です。その中で新たに就任予定のアメリカ大統領は日本の輸出政策を批判しており、中東産の原油価格が値上げとなる観測もある中、日本経済への影響に注視する必要があります。

農業情勢においては、強い反対があるにも関わらず日本政府がTPPの批准を強硬に進めた一方、アメリカは批准しないことを表明し、発効とならないことが確定的となりました。しかし、より日本に不利な日米二国間の貿易協定が懸念されるなど、先行きは依然として不透明であり、日本の農業を守るために粘り強い運動を続けてまいります。

また、昨年は農協改革へ向けた動きが一層強められた年でした。規制改革推進会議「農業ワーキンググループ」の農協改革に関する意見は、自主・自立の協同組合を否定するものなどを含んでおり、この点について到底容認できるものではありません。今後、与党において総合的なTPP関連政策大綱に基づき取りまとめが行われる中で、政府・与党に対してJAグループの役割や協同組合の原則をしっかりと訴えてまいります。当組合は「組合員に対する最大の奉仕」という農

協本来の目的のもと常に農協運営に当たっておりますが、農協を取り巻く環境が急激に変化している中、今一度基本に立ち返り、組合員の所得向上、持続可能な農業の実現に向け、より一層邁進するとともに我々の創造的自己改革をさらに推し進めてまいります。

昨年は台風10号が道内で広く猛威を振るい、管内においても作物の倒伏やハウスの倒壊、停電による生乳の被害、施設の損壊など、被害額は約8億円にのぼり、多大な被害が発生しました。この場を借りて改めてお見舞いを申し上げます。

この様な厳しい生産環境の中、青果品では被災後直ちに主要取引市場参集による「緊急販売対策会議」を開催するなど、産地の実情を訴え、価格の向上を要請し、安定販売に努めた結果、長ねぎ・ニラをはじめ数品目において過去最高の販売額となり、畜産品では肉用牛の個体販売が大きく伸長するなど、総体の販売取扱高につきましては、昨年に引き続き農畜産物取扱高300億円の達成を見込んでおります。多品目生産の強みを改めて実感するとともに、組合員の皆様に少しでも多く利益を還元できるようにと、決意を新たにしております。これも組合員の皆様方の日頃の努力と組合への結集の賜物と、深く感謝申し上げます。

平成29年度は、第5次「地域農業振興計画」及び「中期経営計画」の初年度となります。持続可能な農業に向け、各地域の担い手対策の強化や農業所得の向上に努めてまいります。また、地域とのつながりを重視し密着していくとともに、質の高いサービスの提供に役職員一丸となって邁進してまいります。

最後に、本年が豊穡で、組合員皆様にとつて希望に満ちた良き年となることを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

新函館農業協同組合

会長 理事

小野寺 仁

代表理事 組合長

島山 良一

代表理事 専務

輪島 桂

常務 理事

田村 廣幸

常務 理事

西村 安弘

理事

田中 猛一

(企画管理・信用共済委員長
大野上磯地区運営委員長)

春山 豊満

(森地区運営委員長)

高瀬 幸巳

(北渡島地区運営委員長)

舟田 進一

(せたな地区運営委員長)

横道 重人

(南檜山地区運営委員長)

下川部 洋

(南渡島地区運営委員長)

吉田 成三

笠原 一雄

時田 孝喜

金子 周治

松本 一徳



J A 新はこだて青年部
部長 木村 卓也

皆様、新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃より私たち青年部の活動に対し、多大なご理解とご協力を頂いております事、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返ると、農業にとって大変厳しい年となりました。春先からの天候不順や日照不足により、作物の生育状況に頭を悩ませた方も多いと思います。

さらには台風10号により、甚大な被害を受けました。先の台風で道南は被害を免れ安堵した矢先の事でした。被害を受けた皆様に、改めて心からお見舞いを申し上げます。

農政においても、農協改革やT P Pと先の見えない不安定な状況です。青年部と致しましても、各種勉強会や地域を越えた話し合いの場を多く持つことで、連携を深め次代の農業を支える者としての資質向上に励んでおります。

歴代の青年部もこういった幾多の難局を乗り越えてきたのだと思います。我々もこの先がどうあろうと変化に対応し、地域と家族を守り育て、地域を越えた協力を惜しまず、農業振興はもとより青年部活動に邁進してまいります。

本年も組合員の皆様並びにご家族、そして青年部盟友の皆様にとりまして、ご健康でご多幸、そしてなにより豊穡の年となりますようご祈念申し上げますとともに、青年部活動への変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



J A 新はこだて女性部
部長 田原 和子

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃より、私たち女性部活動にご理解とご協力いただいております事、心より感謝申し上げます。

昨年は全道各地でたび重なる台風の被害を受け、大変な年となりました。さらに、T P P問題、J A改革、高齢化や担い手不足による離農と、課題が山積しております。こうした中ですが、私たちの命を守る食と農を、ひとり一人の持てる力を結集し、次世代へ継いで行かなければなりません。新年を迎え改めて、家庭での子育てがいかに大切かを強く感じています。

私たち女性部は、互いに語り合いそして学び合いながら、楽しい仲間づくりをし、希望の持てる力強い農業を目指し、J A運営の参画にも協力でき得るように、切磋琢磨していきたいと思ひます。今を精一杯頑張れば、きつと明るい明日が来ると信じています。この変動の時を、皆様と力を合わせて頑張つて行きましょう。

今年もご協力よろしくお願ひします。

組合員の皆様、そして女性部員の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます、新年の挨拶と致します。

平田 克則
山下 敏雄
三十尾 昭一
鈴木 隆昭
浅野 宏隆
森 隆志
加藤 寛喜

代表 監事 齊藤 幸利
常勤 監事 川端 英裕
監事 中富 清明
落合 修
鷺田 寿永
職員 一同

(有)新はこだて協同
代表取締役 的野 敏夫
社員 一同



『風の子もち』をもっと食べて 地区をあげてPR活動

もち米

八雲町東野

永井

和広さん(60)

富美子さん

消費増加のためPRを

「最近では食生活とか習慣が変わつてるけど、もち米をもっと食べてほしい」と、八雲町もち米生産部会長の永井和広さんは話す。

その思いから地区全体でPRに力を入れる。例えば表紙に使わせてもらった、青年部落部支部の「餅つき囃子」。町のお祭りなどでは恒例で、札幌や本州で披露したことも。曲にのって餅をつく勇壮な姿に、見物客は感嘆の声をあげる。

ついた餅はその場でお雑煮やお汁粉にして配るが、「本当はつきたてをすぐ食べてほしい」という。今は法規制のため加工するが、もち本来の味を、この思いだ。

この他、新年に町や振興局、JAに鏡餅を贈ったり、JAのお祭りではフィナーレの餅まきも恒例。

「もち米はおこわや赤飯にもなる。ハレの舞台に欠かせない食べ物として見直してほしい」と熱が入る。

「去年・今年と、平年作くらいは取れても豊作まではなかなか。2017年はがんばりたい」と永井和広さん(左)、富美子さん(右)



CONTENTS

- ② 新年のご挨拶
- ④ 道南を農す
- ⑥ われら酉年
- ⑧ トピックス
酪農先進地ニュージーランドへ
担い手養成講座で視察研修 他
- ⑪ Focus the JOB
～JAの仕事をご紹介します～
- ⑫ 平成28年度 役員海外視察研修
- ⑭ JAグループ通信
- ⑮ JA新はこだてからのお知らせ
- ⑯ 年末年始営業時間のお知らせ



- ① 1～2時間しか開かないという稲の花が出ている。8月3日の1コマ。
- ② 若手組合員を中心に、協力しながらラジコンヘリコプターで防除。敦士さんが操縦役を務める。
- ③ 黄金色に輝く稲を前に、収穫を迎えて多忙ながらも喜びひとしお。
- ④ 昨年も大きな鏡餅を渡島振興局・北斗市・JAに寄贈して頂いた。写真は左から永井さん、渡島振興局の三戸部局長、畠山組合長。

道南唯一のもち米生産団地

八雲は言わずと知れた、道南唯一のもち米生産団地。落部から東野・野田生にかけて水田が広がり、うるち米との交雑がなく質の高いもち米を生産する。

永井さんは息子の敦士さんと7.5ヘクタールを作付。今年は分けつ期に天候が悪く心配もあったが、「出穂期には天気も良くなって平年作くらいになった」と話す。台風の影響も限定的で、9月末から収穫を迎えた。

最後に、新年に向けての思いを訊くと、
「1月はもち米やもちが一番食べられる時期。たくさんの人に味わってほしい」と語ってくれた。

第9回

ご当地キャラ紹介

八雲町 やくもっちい



八雲のもち米のPRキャラといえ、やくもっちい。お米の形の丸いボディに愛らしい表情で、子供たちに大人気です。パンダナにあしらった「8つの雲」など、細かなこだわりにも注目です。

われら酉年!!

「酉」は元々、酒を入れる壺を表す漢字。そこから果実や作物の成熟・実りという意味にも転じ、農業にとって縁起の良い年です。このおめでたい酉年生まれの方々に、今年の抱負を漢字1字で表現してもらいました。



厚沢部町
犬塚 和俊さん
昭和56年生まれ

今年もたくさん収穫できるように農作業に励みたい。



せたな町
村上 健吾さん
昭和56年生まれ

改めて家族・仲間との「和」で協調しあい、過ごしていきたい。



上ノ国町
三浦 安則さん
昭和20年生まれ

年を重ねた人生の集大成を目指したい



北斗市
齊藤 哲也さん
昭和56年生まれ

昨年は台風10号などの被害で大変な一年となったが、来年も青年部の活動や農作業に力強く取り組みたいです。



知内町
南 茂敏さん
昭和44年生まれ

今年はより一層、
蕪（ニラ）をたくさんの方に食べて頂けるように、頑張って日々営農に励みたい!



七飯町
坂本 雄一さん
昭和44年生まれ

今年も健康で活躍
できる年にしていき
たい!



七飯町
富原 隆雄さん
昭和32年生まれ

趣味を少しずつ増や
し、余裕を持って楽し
く過ごしていきたい!

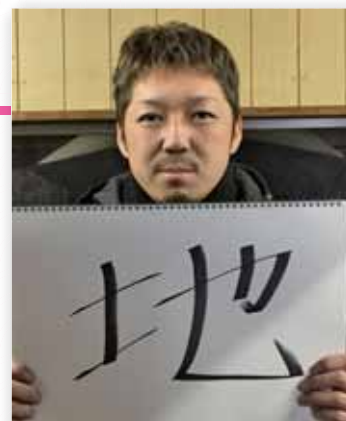
八雲町
齊藤利治・理恵さん
昭和56年生まれ

今年も元気な牛・
元気な子供が育つよ
うにたくさんの愛情
を注いでいきたいと
思います!



森町
岩谷 大介さん
昭和56年生まれ

今年も地に足をつ
けて頑張っていきた
い!!



本店 酪農畜産課
大坪 慶弥さん
平成5年生まれ

一日一日目標をもっ
て行動し、一年を豊か
にしていきたいです。



長万部町
脇 和子さん
昭和32年生まれ

笑顔が絶えない1年
にしたいと思います。

えすパワー TOPICS

トピックス



管内各地の旬な情報をお届けします。



意見交換する参加者と現地の酪農家(右)

北渡島

酪農先進地ニュージーランドへ 担い手養成講座で視察研修



北渡島地区担い手養成講座の畜産科は11月13～19日、ニュージーランドで視察研修を行った。若手酪農畜産家4名が参加した。

まず、乳牛約1,000頭を飼育する酪農家ジェームズ・ジェーケーさん宅でファームステイを実施。生活を共にしコミュニケーションを取りながら、酪農の作業を見学。意見交換も行った。

また、酪農家のデレックさんは、季節繁殖を行い3ヶ月は搾乳しないなど日本と違う農業体系を語った。その後、大規模酪農家のテッドさん、産地直売所、大型農機具店ジョンディア、羊の毛刈りや授乳の酪農ショーなどを見学し、現地の様々な農業事情を学んだ。

参加者は「自分たちと違う農業観に触れて刺激になった」と語った。



▲打ち解けあって笑顔の参加者ら

豪快なシュートに歓声 青年部がフットサルで部員間交流



青年部は11月15日、七飯町の大中山地域体育館で「部員間交流」を行った。今年は部員と職員の計54名が参加し、フットサル大会を開いた。

青年部員は地区ごとに7チームを編成、職員を加えた8チームで対戦。参加者は汗を流しながら楽しみ、南松山地区が見事優勝に輝いた。終了後には懇親会を開いて絆を深めた。

参加者からは「全地区から部員が一同に会する機会は少ないので、新鮮で楽しめた」と好評だった。

▼白熱する試合の様子

青年部



若松

町内の補助制度や農業について話し合う。

せたなに泊まって農業を体験 新規就農者移住体験モニターツアー



せたな町は11～12月、「新規就農者移住体験モニターツアー」を開いた。3泊4日で町内の生活や農業を移住体験するもので、全道から5組を受け入れた。町と若松支店、町内の旅行業者が連携し企画した。

道東から来た家族は農家3軒を訪問、酪農の作業全般を体験したほか、町の農業を学んだ。また、スーパーや保育園、病院などの生活施設も巡った。

「健康な農業に力を入れていて、酪農家さん同士の仲も良い。皆さんの熱心さが伝わった」と感想を語った。



創作弁当を笑顔で販売する高校生

創作弁当が大人気 函館大妻高生が考案



函館大妻高校の生徒は11月12日、あぐりへい屋で創作弁当「大妻日和2016」を販売した。

食物健康科の2年生36人が弁当100食を調理。新米ふっくりんこなど地元食材を使い、「ゆずとしらすのまぜご飯」など工夫を凝らした品々を作った。

開始前から行列ができる人気で、十数分で完売した。

販売を担当した笹木桜さんは「みんなで知恵を出し合って、喜んでもらえる弁当を目指した。地元食材の良さを活かせたと思う」と笑顔だった。

郷土の素材を子供たちに 女性部が小学生と弁当作り



知内支店女性部は11月4・10・14日の3日間、知内小学校児童と弁当を作る食育を初めて行った。郷土の素材を通じ食に関心を持ってもらうのが目的。

実習では町の栄養士から食べ物の働きを学んだ後、調理を開始。6年生は二つと鮭を生かした献立を考え、彩り・盛りつけなども工夫して弁当を作った。部員は包丁の使い方などを優しく指導していた。

城地純子部長は「子供達に楽しんで貰えた。実習をきっかけに地場産品を多く食べてほしい」と話した。

▼包丁の使い方を熱心に学ぶ児童たち



知内

1箱7万円で最高値更新 「ななみつき」が初せり



ブランドリンゴ「ななみつき」が11月11日、函館青果物地方卸売市場で初せりにかけられ、桐箱(3キロ入れ)7玉に7万円の高値が付いた。

デビュー5年目となる今年は新幹線開業の祝賀感などから最高値を更新。株丸上青果が落札し、贈答用として函館市内のデパートに並んだ。

同社の外崎勇次さんは「新幹線効果の期待やリンゴ農家応援の意味を込めてせり落とした。ブランドの知名度が高まるよう後押ししたい」と力を込めた。

▼初せりにかけられるななみつき



七飯

地元のお米知って 大野支店が小学校で出前授業



大野支店は11月から12月にかけて、市内の各小学校で米をテーマに食育出前授業を行った。

11月9日は谷川小の5年生15人が授業を受けた。給食センターの栄養士が米粒のつくりや栄養を解説。続いて田山光幸営農センター長が品種の特徴などを説明。児童に玄米を配り、手でこする精米体験を指導。「一粒も無駄にせず大切に食べて」と訴えた。児童は「ご飯は太らないと知ったので安心して食べられる」と感想を述べた。

▼精米を体験する児童たち



大野

せたな農業を熱烈アピール 北海道新規就農フェアに出展



若松支店、せたな町農業担い手受入協議会と町役場は11月26日、札幌市で開かれた北海道新規就農フェアに出展し、新規就農へ向けPRした。

同フェアには農業に興味のある500名が来場、うち7名がせたな町のブースを訪問。せたな農業の魅力や補助制度などを熱心に聞いていた。3名は「短期で町を訪問したい」とも話してくれた。

その他、専門家や新規就農者によるセミナーやパンフレットコーナーもあり、充実したフェアとなった。



若松

和やかな雰囲気の中、笑顔で話が進んだ



青年部

▲850名近い盟友を前に講演する山本隆久副部長

田んぼアートの発表に万雷の拍手 第65回全道 JA 青年部大会



12月1～2日に札幌市で第65回全道JA青年部大会が開かれ、当JA青年部からは厚沢部地区・北斗地区を中心に29名が出席した。

実績発表では、道南地区代表で北斗地区青年部の山本隆久副部長が登壇。新幹線開業記念で実施した田んぼアートのコンセプトや制作過程、成果を語った。

その他、「あぐり王国北海道NEXT」に出演する金井憧れアナウンサーによる講演、農村ホームステイ事例発表、懇親会など、中身の濃い大会となった。

最優秀賞を独占の快挙 第15回北海道あか牛枝肉共励会



安平町の㈱北海道畜産公社早来工場で11月18日、第15回北海道あか牛枝肉共励会が開かれた。木古内町内の組合員4名から8頭、十勝の池田町から12頭の計20頭の枝肉が出品され、肉質を競った。

審査は2部門で実施。一般褒賞部門は日本食肉格付協会が審査し、岡山徹さんの「翔号」が最優秀賞を獲得したのをはじめ、東出雅史さんの「鶴田号」が優秀賞1席、川瀬

▼全員が賞を獲得し笑顔の出品者(左2番目から川瀬雄二さん、岡山徹さん、多田幸広さん、東出雅史さん)

木古内



雄二さんの「晴光号」が優秀賞2席など、計4頭が入賞した。

あか毛和牛賞部門では全日本あか毛和牛協会の基準により審査が行われ、多田幸広さんの「久重号」が最優秀賞に輝いた。

終了後はホクレンと枝肉の販売交渉を実施。A4等級など高ランクの個体も多く、品質が認められ入賞牛を中心に高値がついた。

岡山さんは「赤身のおいしさがあか牛の魅力。消費者に喜んで食べてもらえる様、良質な牛肉を生産し続けたい」と抱負を語った。



◀最優秀賞を獲得した枝肉の前に笑顔の岡山徹さん



信頼をいただき安心をお届けます



支店長からのひとこと

森基幹支店 支店長
まつざき こういち
松崎 光一

輝かしい新春をご健勝で迎えられましたことお慶び申し上げます。
日頃当支店をご利用頂き、ご愛顧に感謝申し上げます。
職員一同今後とも皆様に愛される支店として努力してまいります。

森基幹支店の金融フロアでは、冬のキャンペーンをはじめ、各種キャンペーン等をご用意しております。

森支店は、ご来店されたお客様に笑顔で帰っていただけるように日々心掛けております。

濁川事業所は、元気な挨拶と丁寧な接客を日々心掛け、明るい職場作りに取り組んでいます。



濁川事業所

茅部郡森町字濁川 231 番地 19
TEL:01374-7-3316
FAX:01374-7-3259



森支店

茅部郡森町字森川町 278 番地 2
TEL:01374-2-2386
FAX:01374-2-7260



平成28年度 役員海外視察研修

日 程 平成28年11月16日(水)～11月21日(月)

参加役員 畠山組合長、輪島専務、西村常務、春山理事、高瀬理事、
舟田理事、横道理事、吉田理事、笠原理事、時田理事、
松本理事、平田理事、鈴木理事、森理事、加藤理事、
齊藤代表監事、鷺田監事 計17名

系統参加 ホクレン函館支所 保科次長

事務局 新谷生産販売部長

目 的 農産物の海外輸出における現状と課題及び市場動向について学び、今後の輸出検討の資とする。



ホクレン駐在員による輸出の現状説明

シンガポール

農畜産物の輸出拡大に向け、ホクレンは昨年からはシンガポールと台湾に駐在員を配置。ホクレン及びホクレン通商の今までの取引先への販売拡大や、総合商社と連携して新規取引先の開拓などに取り組んでいる。今回はシンガポールに駐在し東南アジア全域を活動エリアとする喜多駐在員から、その現状と課題を伺った。



●経済事情

・中流～富裕層の割合が多く、1人当たりの名目GDPはアジア第1位

●食糧事情

・都市国家のため農業生産がほとんど無く、自給率は10%未満。
・生活用水も自給できず、隣国マレーシアからの輸入に頼っている。

●輸出に向けた課題

・周辺のASEAN・豪州など農業生産国から安価で新鮮な農畜産物が輸入されるため、日本産として差別化することは難しい。
・北海道の認知度は非常に高くブランド力もあるが、偽物が出まわりイメージ低下の一因となっている。

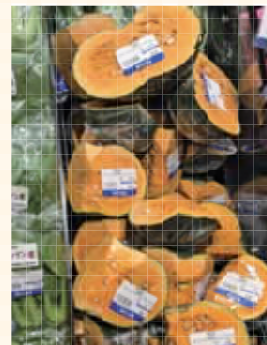
●ホクレンの取り組み

・定期輸送ルートを確保し、米や小麦粉、麺などを通年販売。夏から秋にかけては青果物の輸出も取り扱う。
・水不足に対し、高い食味に加えて節水効果のある無洗米を推進し、100トンの販売拡大を実現した。
・現状の輸出額30億円を100億円に拡大することを目標。

〈ISETAN(伊勢丹) オーチャード店 シンガポール〉

商業中心地オーチャードに位置する日系の高級スーパーで、客層レベルは高い。陳列棚の日本産の生鮮野菜等は殆どが空路輸送であり、鮮度は品目により差があるものの概ね良好。

国産品揃え：ななつぼし無洗米 3,700円/5kg、
ゆめぴりか無洗米 4,600円/5kg、
野菜（府県産ニラ・長ねぎ他多数）など



〈MEIDI-YA(明治屋) シンガポール〉

日本人御用達のリャンコート内にある日系高級スーパー。当日は北海道フェアが開かれ、米や乳製品などの農産物も多く売られていた。八雲町からは服部醸造が出店し、活発に販促していた。

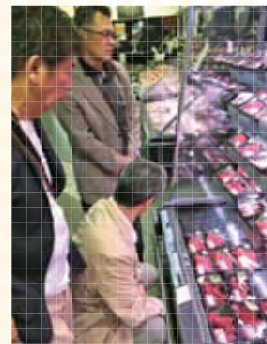
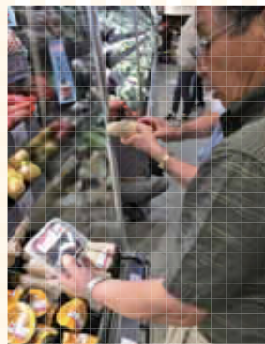
国産品揃え：ななつぼし 2,800円/5kg、
ゆめぴりか 4,200円/5kg など



〈AEON(イオン) マレーシア〉

視察日が週末ということもあり、大勢の客で賑わっていた。生鮮食品売場の陳列スタイルは日本のイオンと同様で、品揃えも豊富。価格面では、シンガポールと比較してかなり安価で、物価水準は低いと考えられる。

国産品揃え：野菜（長ねぎ・大根・南瓜他多数）など



所 感

新谷生産販売部長

当JAでは、平成25年よりホクレン・ホクレン通商を通じ、台湾・香港・シンガポールへ馬鈴薯・長ねぎ・南瓜・アスパラを試験的に輸出しています。少額ではありますが年々拡大傾向にあります。

その一方で、船便での長期輸送による鮮度保持や残留農薬基準の違いなど、障壁となる課題も多い状況です。現地での実情を目の当たりにして認識が深まりました。

特にシンガポールは自由市場で比較的輸出しやすい半面、競争も激しい国です。この度の経験を活かし、JAとして国内需要を第一とするも、年々消費が減少する米においては、国内の価格安定のためにも需給調整の手段として輸出を強化する必要があると考えます。

今後の輸出の取り組みにあたっては、知名度の高い「北海道」らしさを前面に出し、品目を定め、ターゲットを明確にすることで、ビジネスチャンスはあると思われます。

JAグループ通信 大会実践フォーラム特集

JA北海道中央会

私たちは大会決議事項である
「所得20%増」「担い手倍増」「サ
ポーター550万人づくり」「JAグルー
プの人づくり」等、息の長い取り組みを続け
て行かなければなりません。

今後、協同の理念のもとで着実に実践を積み重ね、農業・JAの意義をグループ内外に積極的に発信し続けながら、北海道農業の価値を高めて行くことで道民や国民に信頼され愛されるJAグループになることを目指して参ります。



JAグループでは11月2日、「JA北海道大会 実践フォーラム」を開催しました。その中で、JA北海道大会の決議事項に対する実践機運を高めるため、パネルディスカッションを実施。

今回はフォーラムで発信した「JAグループからのメッセージ」をお伝えします

JA北海道信連

新規担い手倍增、農業所得増大の取組として、各連合会が連携しての「後継者親元就農」「ICT導入」等へ助成支援する『担い手確保・育成支援事業』の実施や後継者等向けに借換による償還負担軽減を図る資金を創設しました。

また、550万人サポーターとして、コンサドーレ通帳の発行、親子料理教室、「ドーン貯キャンペーン」の実施等、JAFアンブクリに取り組みました。今後、選ばれるJAFバンクを目指して取り組んでまいります。



ホクレン

『販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営』を基本戦略とし、「価値向上」「生産性向上」「コスト低減」の実践を通じて「農業所得の向上」を目指すとともに、経営の合理化による配当の向上、

主要品目全般における手数料の引き下げ、各種奨励施策の実施など、生産者・会員JAへの最大限の還元に努め「皆様に選ばれるホクレン」を目指します。



J A 共済連北海道

「相互扶助」を事業活動の原点に「ひと・いえ・くるまの総合保障」により、組合員・利用者が健康で安心して暮らせる地域社会づくりに貢献していきます。

今後も引き続き農業経営に貢献する取り組みと、JA支援の強化を重点事項として、地域密着の社会貢献活動を展開しながら組合員・利用者との結びつきを深めてサポーター550万人づくりに取り組みます。



JA北海道厚生連

厚生連は、設立以来「農民の健康保持と生活文化の向上」を目指し、安心して暮らせる地域社会と農村の環境づくりに寄与してまいりました。

今後についても、地域のつながりを守る生活基盤としての機能発揮と、道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりへの貢献を「医療・健康管理・高齢者福祉・配置薬」の視点から推進し、取り組んでまいります。





税務署からのお知らせ



1. 確定申告会場開設期間等のお知らせ

次の通り確定申告会場を解説します。
申告書の作成には時間がかかりますので、午後4時ころまでにお越しください。

なお、会場が混雑している場合には、受付を早めに締め切ることがあります。

確定申告会場開設期間

平成29年2月16日(木) から

平成29年3月15日(水) まで

確定申告会場開設時間

午前9時から午後5時まで

確定申告会場

函館税務署 函館市中島町37番1号

2月15日(水) 以前は、確定申告会場を解説しておりません。確定申告のご相談は、申告会場を開設する2月16日(木) 以降にお越しください。

また、申告に関するご質問や必要な書類のご確認などは、お電話でも問い合わせることができます。

2. 確定申告書にマイナンバーの記載が始まります!

申告する方や扶養親族の方などのマイナンバーの記載が必要になります。

マイナンバーを記載した申告書を提出する際には、申告者ご本人の本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です(控除対象配偶者、扶養親族及び事業専従者などの本人確認書類は不要です)。

【本人確認書類の例】

例1 マイナンバーカード

例2 通知カード+運転免許証、
公的医療保険の被保険者証など

3. 申告書の作成は便利な「確定申告書等作成コーナー」で!!

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で、所得税及び復興特別所得税、消費税並びに贈与税の確定申告書などを作成し、印刷して郵送等により提出することができます。

「確定申告書等作成コーナー」には、給与収入や年金収入の方専用の初めてでも操作しやすい画面もありますので、確定申告書の作成には「確定申告書等作成コーナー」を是非、ご利用ください。

また、「確定申告書等作成コーナー」はタブレット端末からもご利用いただけますが、パソコンで利用可能なe-Taxでの送信など一部の機能が利用できませんので、申告に当たっては、申告書を印刷して郵送等により提出してください。

4. お問い合わせはお電話で!

【e-Tax・作成ヘルプデスク】

電話番号 0570-01-5901

(全国一律市内通話料金)

受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:00

(祝日及び12月29日～

1月3日を除きます)

平成28年度 道南地区農業法人セミナー



□講演 「農地所有適格法人の設立について」

北海道農業会議 佐藤匡紀 部長・水尻恵太 技師

□パネルディスカッション 「経営者に聞く! 農業法人の実際について」 (予定)

・コーディネーター 北海道農業会議 佐藤匡紀 部長

・パネラー せたな会場 (有) サクセス森、(有) 山下農産、北村卓馬氏

北斗会場 (農) ぴりかファーム、(同)小澤農園、木村卓也氏

開催

せたな会場

日時: H29年1月31日(火) 13:10～17:05

場所: せたな町民ふれあいプラザ

北斗会場

日時: H29年2月1日(水) 13:10～17:05

場所: 北斗市農業振興センター

参加を希望される方は、H29年1月18日(水)までに最寄りの農協までご連絡ください。

【主催】北海道農業法人協会、JA新はこだて農業生産法人ネットワーク、北海道農業会議、北海道(渡島総合振興局、檜山振興局)

年末年始の営業時間

JA新はこだて		12/27~30 火~金	12/31 土	1/1 日	1/2 月	1/3 火	1/4 水	1/5 木	1/6 金
資材店舗・営農センター		通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業
金融窓口営業		通常営業	休業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業	通常営業
A T M	金融店舗内	通常営業	休業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業	通常営業
	アークス七飯サウス店		通常営業 ~17:00						
	ホクレンショップ森店								
	Aコープ道央八雲店		休業						

(有)新はこだて協同		12/27~30 火~金	12/31 土	1/1 日	1/2 月	1/3 火	1/4 水	1/5 木	1/6 金	
給 油 所	厚沢部・知内・木古内・ 大野・大中山・駒ヶ岳	通常営業	8:00~ 15:00	休業	休業	8:00~ 17:00	8:00~ 17:00	8:00~ 17:00	通常営業	
	上ノ国・乙部・八雲・ 長万部		8:00~ 12:00							
	若松		休業			休業	休業	休業		休業
	濁川									
Aコープ 厚沢部・館・知内店		通常営業	~12:00	休業	休業	休業	休業	臨時営業	通常営業	
整備工場 厚沢部・知内・八雲		通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業	

編集後記

明けましておめでとうございます。2017年は酉年ですが、我が家でも去年からインコを飼い始めました（本当はネコが良かったのですが……）。

飼った感想ですが、少しの餌や水やりと掃除程度で手間がかからず、人に懐くので飼いやすいです。所構わず糞をすることと、眼球を突こうとするのが玉に瑕ですが。皆さまのペットも教えて下さい。

(真)

facebookページ更新中!

随時、最新情報を更新していますので、ぜひチェックしてみてください。



JA新はこだて facebook

検索

まるめ郎アルバム

題名:マルメロード第47章
Day:2016.11.23



冬のトラビストきれいですね。
クリスマス前の夜はライトアップも!

緊急時のご連絡先

※業務時間内
(平日9時~17時)には
ご契約の支店に
ご連絡ください。



お車の事故・トラブル

☎0120-258-931

(JA共済事故受付センター)

キャッシュカードや通帳の紛失・盗難

☎0120-944-904

(JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター)

お車のレッカー・ロードサービス

☎0120-063-931

(JA共済サポートセンター)

JAクレジットカードの紛失・盗難

☎0120-159-674

(三菱UFJニコス株式会社盗難紛失受付センター)

※JAカード一体型の盗難・紛失においては、両方にご連絡ください。